

ホテル・ルワンダ (2004)

HOTEL RWANDA

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス 戦争

製作国 イギリス/イタリア/南アフリカ

色彩 Color

時間 122分

初公開日 2006/01/14

公開情報 メディア・スーツ=インターフィルム

【キャッチコピー】

「愛する家族を守りたい。」
ただ1つの強い思いが、1200人の命を救った…。

【解説】

1994年、アフリカのルワンダで民族対立が原因の大量虐殺事件が発生、欧米諸国や国連の無策が被害を拡大させる中、1200人もの人々をホテルに匿い、持ち前の機転と交渉力でその命を守り抜いた一人のホテルマンの奇跡の逸話を映画化。主演は「青いドレスの女」「オーシャンズ11」のドン・チードル。監督は「父の祈りを」の脚本で知られるテリー・ジョージ。日本では長らく公開のメドが立たずにいた本作は、有志による熱心な署名活動が実を結び晴れて公開実現の運びとなったことでも話題に。

1994年、ルワンダの首都キガリ。多数派のフツ族と少数派のツチ族の内戦はようやく和平交渉がまとまるかに見えたが、街では依然としてフツ族派ラジオ局が煽動的なプロパガンダを繰り返し不穏な空気に包まれていた。ベルギー系の高級ホテル“ミル・コリン”で働く有能な支配人ポール。ある晩帰宅した彼は、暗闇に妻子や近所の人たちが身を潜めているのを目にする。フツ族大統領が何者かに殺され、これを契機にフツ族の人々がツチ族の市民を襲撃し始めたのだ。ポール自身はフツ族だったが、妻がツチ族だったことから一行はフツ族の襲撃を恐れミル・コリンに緊急避難する。外国資本のミル・コリンはフツ族の民兵たちもうかつには手を出せなかった。そのため、命からがら逃げ延びてきた人々が続々と集まってくるのだが…。

【クレジット】

監督	テリー・ジョージ	Terry George	
製作	テリー・ジョージ A・キットマン・ホー	Terry George A.Kitman Ho	
製作総指揮	ハル・サドフ マーティン・カツ	Hal Sadoff Martin Katz	
脚本	テリー・ジョージ ケア・ピアソン	Terry George Keir Pearson	
撮影	ロベール・フレース	Robert Fraisse	
美術	トニー・バロウ ジョニー・ブリート	Tony Burrough Johnny Breedt	
衣装	ルイ・フィリップ	Ruy Filipe	
音楽	ルパート・グREGソン=ウィリアムズ アンドレア・グエラ	Rupert Gregson-Williams Andrea Guerra	
出演	ドン・チードル	Don Cheadle	ポール・ルセサバ ギナ

ソフィー・オコネドー

Sophie Okonedo

タチアナ・ルセサ
バギナ

ホアキン・フェニックス

Joaquin Phoenix

ジャック・ダグリッ
シュ

ニック・ノルティ

Nick Nolte

オリバー大佐

デズモンド・デュベ

Desmond Dube

デュベ

デヴィッド・オハラ

David O'Hara

デイヴィッド

カーラ・セイモア

Cara Seymour

パット・アーチャー

ファナ・モコエナ

Fana Mokoena

ビジムング将軍

ハキーム・ケイ＝カジーム

Hakeem Kae-Kazim

ジョルジュ・ルタ
ガンダ

トニー・キゴロギ

Tony Kgoroge

グレゴワール

アントニオ・デヴィッド・ライオンズ

Antonio David Lyons

ジャン・レノ

Jean Reno

(クレ
ジット
なし)